

宝塚ガーデンフィールズ跡地 利活用について

宝塚市宝塚ガーデンフィールズ跡地利活用に関しては、宝塚市の財政状況を鑑み、そもそも土地購入についても反対をして参りましたが、計画案は可決され、この度基本設計が策定されました。せっかく巨額の金額を投入しますので、より良いものができることを願うばかりです。

宝塚市宝塚ガーデンフィールズ跡地の基本コンセプトとしては、

- ①宝塚らしさを継承し、未来物語の舞台となる想像の空間
- ②文化芸術を通じて市民の新しい交流広場となる親しみの空間
- ③子どもの驚きと家族の笑顔が絶えない感動の空間

が謳われ、文化芸術施設と庭園が作られます。平成 28 年度に実施設計がなされ、工事は平成 29 年 30 年の予定です。

これまでも申し上げて頂いてきたように、歌劇場交差点付近の日常的な渋滞の問題を始め、市内道路の整備を進めて行かねばなりませんし、超高齢化社会に対応した財政需要、様々な公共施設の老朽化への対応等、財政需要は増すばかりです。

ずっと行財政改革の必要性を必死の思いで訴えて参りましたが、なかなか当局は重い腰を上げようとしません。

只でさえ、財政状況が悪いのに、削減をすることなく不動産を購入し続けたり、建設を推し進め、増え続ける社会保障費を圧縮する工夫もありません。

直ちに職員給与削減など、抜本的な行財政改革を真剣に取り組まなくては、財政危機に陥る可能性さえ出てきました。

将来に遺恨を残さない取り組みが必須です。



※これらの図は現時点のもので確定ではありません